

海外事情 4月30日号

- アコー、飲食店サイト買収
- 計画段階の旅行先未定は7割
- グーグル、体験プランを試行
- スカイスキャナーが鉄道予約
- 航空券狙うバッドボット蔓延

以上のニュースはトラベル ジャーナル 4月30日号をご覧ください。

➤ AF/KLM GDS と NDC 契約

AF/KLM が、Amadeus 及び Travelport の GDS 2 社と IATA NDC を使用した流通契約を締結した。これにより、Amadeus と Travelport を使用する旅行会社は、両社の GDS 経由予約に対して GDS サーチチャージの支払いを免除されることとなった。AF/KLM の NDC API は、Amadeus と Travelport に接続する。AF/KLM は、4月1日から GDS 経由予約に対して片道 11 ユーロのサーチチャージを課していた。このサーチチャージは、GDS と直販チャンネルの流通経費の差額であると説明されている。IAG の BA と IB は、先秋、GDS 予約に対してフィーを導入した。LH は同様のサーチチャージを 2015 年 9 月に導入している。(PhocusWire 3/30 <https://bit.ly/2H37GN7>)

➤ グーグルのバケーションレンタル

Google が Hotel に加え Rental のリスティングを掲載してバケーションレンタル市場に試験的に参入している。そしてそれを OTA のペイド広告の上位にリスティングしている。Google のジオマッピングや洗練されたキーワードをベースにしたユーザーエクスペリエンスは、モバイルやボイスにも対応する。Google がバケーションレンタルのメタサーチエンジンとして活動することを意図していることは明らかだ。そして旅行の会社とダイレクトに提携して、旅行を束ねる動きも見せている。

OTA は、(Google の) ボイスやホームオートメーションがバケーションレンタルの分野を革新するスピードを無視できるのだろうか？OTA は自身のアプリの方が優れていると言っている。プロパティーマネジャーも、Google メタサーチのインパクトとコストについて脅威を感じていない。多くの小規模レンタルマネ

フォーカスライト Japan

ジャーは、彼らの Google account のために Web マーケティングエージェンシーを使っている。専属的インベントリーによるサービスフィー無しの安い価格で Google の検索上位ポジションを確保している。

将来は、PC 検索よりもボイス検索がより重要になるだろう。Google は将来のテクノロジーに順応する能力を有している。OTA は、Google は不公平だと言って騒ぐが、現実には HomeAway や Airbnb の両方が宿泊客とプロパティーマネジャーの間の中抜きを狙っている。最悪、いくつかの OTA は、ホテルの所有者がプロのプロパティーマネジャーを経由しないで直接 OTA サイトにリストさせることを願っている。プロパティーマネジャーは、Google が得意分野で OTA を叩いてくれることを期待している。そうなれば Google は公平な競争条件作り出すことになるかもしれない。

Google は、テクノロジーと専門的マーケティングに優れた企業を優先させる。ボイスとモバイルを使用する宿泊客は、限られたそして自身の嗜好に合致したユニークなチョイスを求めている。プロパティーマネジメント ロッジングプラットフォームの VTrips (本社フロリダ) もテクノロジーを強化している。(PhocusWire 3/30 <https://bit.ly/2uDNJKj>)

➤ アリババが出前サービス新興企業買収

Alibaba が、ローカルの出前サービス新興企業 Ele.me を \$9.5billion で買収する。Alibaba のアフィリエイトの Ant Small and Micro Financial Services Group Co. は、すでにこの会社の 43%の議決権株を保有していたが、残りを百度から買い上げる。(Bloomberg 4/2 <https://bloom.bg/2pZP207>)

➤ Meituan が Mobike 買収か

中国最大オンライン予約プラットフォームの Meituan Dianping が、世界最大のバイク新興企業の 1 社である Mobike の過半株を 37 億ドルで買収するとの情報が流れている。Tencent がこの買収を斡旋していると言われている。Meituan は、コメントを避けている。取締役会は、成立していない取引なので買収額も正しくないと言っている。モバイルペイメントのプラットフォームにおける、Tencent と Alibaba の新たな戦争が始まっているようだ。(Caixin 4/3 <https://bit.ly/2HnU7dN>)

Meituan Dianping が Mobike を買収した。Meituan のデータによれば、3 億 2 千万人のアクティブ会員の大部分が、頻繁に近距離の運輸サービスを探している。Mobike は上海で 2016 年に 4 月に設立、15 カ国 200 都市に展開、ユーザーの利用走行距離は 182 億キロに及んでいる。(Tnooz 4/4 <https://bit.ly/2vcXnUo>)

➤ Guesty が Agoda 追加

クラウドベースの短期とバケーションレンタルを複数のチャンネルにリストする Guesty が Agoda を追加した。Guesty は 2013 年創立で、チャンネル管理に加えプロパティーマネジメントソフトウェア、ペイメントプロセッシング、コミュニケーションツール、Web サイト作成ツール、ホームオーナー用のポータルと幅広いソフトウェアベンダーである。(PhocusWire 4/3 <https://bit.ly/2qvY2us>)

➤ トリアドのホテル広告

ホテルが、TripAdvisor のスポンサード リスティングの上位リスティングポジションを購入できるようになった。TripAdvisor の Business Advantage プログラムに参加しているホテルは、3 ヶ月間の CPC バジェットオプションの中でキャンペーン広告を打つことが可能となる。今後はバジェットのカスタムが可能になる。TripAdvisor によれば、オンラインで予約する全ての旅行者の 60%は、ホテルを予約する前に TripAdvisor に訪れているので、スポンサード広告への投資は、サイト上の可視性と予約リフェラルの向上に繋がり、有効なマーケティング戦術となると言っている。(PhocusWire 4/4 <https://bit.ly/2qvPPqf>)

➤ サーベイダー、50 万ドル調達

Plug and play の SaaS ソリューションプロバイダー Survaider (印) が、ラウンド C で 50 万ドルを調達した。Survaider は、SNS、e メール、電話、フィードバックフォームから顧客コメントを集積する。インドの 60 都市と中東及び欧州をカバーしている。調達資金は、テクノロジー開発と展開地域拡大に加え、レストランやホスピタルグループなどのその他のバーティカルへの拡大に使用される。

(Tnooz 4/4 <https://bit.ly/2HnLwb1>)

▶ Ctrip がライドヘイリングに参入

Shanghai Daily によれば、中国最大旅行企業の Ctrip が、当局の許可を得てライドヘイリング（配車アプリ）市場に参入することとなった。その他の企業の Meituan Dianping, Yidao, AutoNavi が、この市場を席卷している Didi Chuxing に対抗して、配車アプリの新たなビジネスモデルに巨額の投資を行っている。しかし Ctrip が配車アプリサービスの許可を得たのは天津の子会社経由で、上海でこの事業を開始するためには別の許可を取得しなければならない。2017 年末に中国では配車アプリのユーザーは 2 億 2,500 万人存在するので、事業の成長余地は広いと Ctrip は言っている。同社は 2015 年から Didi Chuxing や Yidao と提携しているが、品質と信頼性が高い自社新ブランド立ち上げることとなった。業界ウオッチャーは、配車アプリの急成長時代は終わり、パイの奪い合いが始まると予想している。Didi Chuxing は、ユーザーベースを確保するために自転車ヘイリングサービスへ事業の多角化を実施している。Meituan Dianping は、自身の食料品配送、映画入場券や旅行予約サービスを補完するために、配車アプリは 020 エコシステムに必要なサービスだと言っている。上海では価格戦争が始まっている。Meituan Dianping は、上海における事業開始の最初の週で乗車あたり 14 元(\$2.23)の値引きをおこなった。最初の 3 ヶ月で、運転手から徴収する 8%のコミッションを無料にした。Didi は 25%~30%徴収している。Ctrip の強みは、配車アプリサービスと同社のツーリズムサービスとのシナジーを追求できることだ。(ShanghaiDaily 4/4 <https://bit.ly/2ITV9LM>)

▶ アップル、マークトラベルと合併

米 Apple Leisure Group が、米 Mark Travel Corporation と合併する。合併条件の詳細は開示されていない。Apple Leisure には、Apple Vacations, Travel Impressions, CheapCaribbean.com, AMResorts, Armstar, Worldstar, Unlimited Vacation Club が存在する。Mark Travel には、Funjet Vacations, Southwest Vacations, United Vacations, Blue Sky Tours, My Destination Wellness, Mark International が存在する。同社の姉妹会社であるテクノロジー会社 Trisept も合併企業に吸収される。合併会社の CEO には、Apple の CEO が就任する。当局合併承認は第 2 四半期を予定。(PhocusWire 4/4 <https://bit.ly/2EKx3QX>)

▶ MMT、フリップカートと提携

インド最大 OTA MakeMyTrip がインド最大のオンラインマーケットプレイスである Flipkart と提携した。MakeMyTrip は Goibio を含めて、Flipkart の 1 億人以上の登録ユーザーに旅行を販売することとなった。1 ヶ月前の Amazon が旅行に参入するとの噂が、インドではまるで現実の話となっている。今後数週間で、Flipkart のユーザーは、国内航空、ホテル、バス、休暇パッケージの予約が可能になる。(PhocusWire 4/5 <https://bit.ly/2qwZb5K>)

▶ 眼球追跡ソフト利用キャンペーン

オールインクルーシブの豪華ブランド Palace Resorts が、眼球追跡テクノロジーを利用した「without lifting fingers」と呼ばれる新たなマーケティングキャンペーンを展開している。このキャンペーンは、Expedia Group Media Solutions のインハウスエージェンシーである Creative Partnerships が、デジタルエージェンシーの Realise と協力して作成したもので、視聴者の PC に Web カメラを装備させてマイクロサイト上に映し出す 2 つの Palace Resort ビデオのどちらを長く視聴者が見るかを追跡する。そして長く見たビデオの旅行を提案するという仕組み。モバイルの場合は、モバイルを左右に振って質問に Yes か No を回答させる方法を取っている。このキャンペーンは、北米と中南米と英国の Expedia, Hoptels.com, Hotwire, Travelocity のサイトで展開されている。(PhocusWire 4/05 <https://bit.ly/2qnNxJz>)

▶ Expedia Group の新ブラッドロゴ

Expedia Group が新ブラッドロゴを作成した。同グループの Expedia の飛行機のロゴマークと区分する。(Tnooz 4/5 <https://bit.ly/2IBh7TJ>)



▶ ブラジルのバイクシェアリング 900 万ドル確保

ブラジルのバイクシェアリング Yellow が、900 万ドルのシードマネーを確保した。Yellow は、ブラジル初のドックレスのバイクシェアリングである。Yellow の創立者は、Didi が今年初めに買収した配車アプリ 99 の創立者でもある Ariel Lambrecht と Renato Freitas。ブラジル自転車メーカー Caloi の元 CEO も創立者

として名を連ねる。夏にはサンパウロで 2 万台の自転車を用意する。ブラジル全土に展開する前に、サンパウロで 10 万台を用意する。(PhocusWire 4/5 <https://bit.ly/2JLRVuY>)

➤ MyBagCheck が B2B 優先

MyBagCheck アプリが、11 月に正式に Apple App Store でダウンロード可能となった。現在までおよそ 300 回のダウンロードを記録した。MyBagCheck は、2016 年後半に創立者の Micah B. Lewis が自己資金 60 万ドルで立ち上げた手荷物一時預かりと宅配サービス。B2C で顧客拡大を狙うよりも、ホテルやコンシェルジュ会社と契約した効率の良い B2B 取引の方を優先させる。ホテルから空港への手荷物配送や、Airbnb をチェックアウトした旅行者の手荷物の一時預かりが狙い目となる。手荷物を預かった後は、Zip タグの固有番号付きで公表していない場所に保管される。すでに 2 軒の NYC のブティックホテルと B2B 契約した。そして NYC の 50 軒のホテルと契約することを目標としている。投資家たちがこのシステムに注目し始めているので、Lewis は 100 万ドルのエンジェル投資家資金獲得を模索している。(Tnooz 4/6 <https://bit.ly/2JI0V4e>)

➤ 航空会社チャットボット 1 年経過

2016 年 5 月、バーチャルコンシェルジュの Caravelo (本社 Barcelona) が IATA NDC ハッカソンに参加して入賞した。そして過去 12 ヶ月間で航空会社 6 社のチャットボットを立ち上げた。以下がチャットボットの正しく運営する 10 のコツである。

(1) ユーザの期待を裏切るな

ユーザーの期待は際限ない。チャットボットが対応できない場合は、ユーザーの期待を裏切ることになって二度とチャットボットを使ってくれない。そこで、はじめにチャットボットの目的を明確にして、できることと、できないことをはっきりユーザーに説明する必要がある。

(2) ボットを顧客サービスのチームに加えろ

ボットが回答する単純な質問 (例えば手荷物アローアンスとオンラインチェックイン方法など) はボットに、複雑な質問は人間のエージェントに、チームを組んで仕事を分担しろ。

- (3) 決済にも使えるようにしろ
チャットボット予約を簡単にして Amazon Prime がしているように、その決済もボットが対応できるようにしろ。
- (4) 顧客にニーズに対応しろ
通貨交換レートとか目的地のピザレストランの紹介まで、顧客のニーズに幅広く対応しろ。
- (5) マルチリンガルになれ
Wit.ai や dialogflow や Watson は 50 ヶ国語以上に対応する。ボットもマルチリンガルになれ。
- (6) チャットボットの宣伝にはげめ
導入当初はもてはやされるものだが、それは長続きしない。ボット立ち上げは 50%しか仕事が完了していない。残る 50%が、立ち上げ後のマーケティングだ。
- (7) 学習させて育てろ
最初から成功するはずがない。絶えず弱点を修正して明けても暮れても機能改善に励め。
- (8) 社内コールセンターや空港接遇にも使え
ボットはただ一つの正しい回答を探し出す。このボットの顧客のための回答を社員の間にも流通させろ。
- (9) 複数のメッセージングプラットフォームを使えるようにしろ
Facebook の Messenger 以外にも、Viber, LINE, Telegram, Kakao talk などのメッセージングプラットフォームでも使えるようにしろ。
- (10) データを分析しろ
チャットボットの会話記録を集積して分析し、それをボットの次の段階の開発に利用すると同時に顧客をより理解するために役立たせろ。

(Tnooz 4/6 <https://bit.ly/2Hr06yi>)

➤ 世界の航空会社 PSS の人気番付

以下は Yieldr が調査した、世界の航空会社の PSS (Passenger Service System) の人気番付である。

PSS とは、航空会社の予約システムと、在庫管理システムと、デパーチャー管理システムを統合したシステムで、航空会社の旅客ハンドリングのエンドツーエ

フォーカスライト Japan

ンド基幹システムである。ランクづけは、航空会社の ASK に基づく。

世界三大 PSS

Sabre	Amadeus	中国 TravelSky
62 航空会社	119 航空会社	61 航空会社
30.459	57.741	20.394
17.57%シェア	33.31%	11.77%

数値は ASK 単位 Billion

地区別順位

アフリカ	APAC	欧州
Amadeus Altea 2.052	中国 TravelSky 20.394	Amadeus Altea 22.863
SabreSonic 1.142	Amadeus Altea 19.317	Navitaire New Sky 6.243
SIAT Horizon 0.240	Navitaire New Sky 7.507	SabreSonic 3.342
ラテンアメリカ	中東	北米
SabreSonic 3.062	Mercator MARS 7.384	SabreSonic 13.327
Amadeus Altea 6.032	Amadeus Altea 6.032	HP Shares 7.950
Navitaire New Sky 2.581	SabreSonic 3.007	Delta Air 7.278

キャリアタイプ別順位

FSC	LCC	Regional
Amadeus 50,355	Navitaire 17.496	中国 TravelSky 0.214
Sabre 25.729	Amadeus 6.572	Amadeus 0.207
中国 TravelSky 18.525	Sabre 4.509	Sabre 0.147

(Tnooz 4/6 <https://bit.ly/2GMHKEH>)

➤ スペイン ホテルテック\$370万調達

Hotels Network (本社 Barcelona) が、米国と欧州の投資家たちから 370 万ドルを調達した。Seaya Ventures がこの投資ラウンドをリード、OTA eDreams-Odiego の創立者、SeedRocket4 Founders Capital、米ベンチャーの NFX が、この投資ラウンドに参加した。Hotel Network は、50 カ国 3,000 ホテルに直販増加のためのテクノロジーを提供している。レビュー比較、Web サイトのパーソナリゼーションオプション、予約エンジン、予測分析のツールを揃えている。クライア

ントには欧州では Iberostar、北米では Grupo Posadas、アジアでは Minor Group が存在する。大手オンラインプレイヤーの進んだテクノロジーと、ホテルの遅れたテクノロジーの間の大きなギャップの橋渡しをする。(PhocusWire 4/9 <https://bit.ly/2GWtTeV>)

➤ Uber のバイクシェアリング

Uber が、ドックレスの電気自転車シェアリング新興企業 Jump Bikes を買収した。2010 年に Smart Bicycles として創業し、今年 1 月に Jump Bike に名前を変更、事業モデルも B2G から B2C に変更した。また 1 月からはサンフランシスコでパイロットプログラムを開始した。Jump Bike は、このシステムが自動車と自転車の中に位置すると言っている。サンフランシスコの Jump Bike 電気自転車の平均走行距離 2.7 マイルに対して、非電気自転車は 1 マイル以下、Uber や Lift は 5 マイルだ。

最近バイクシェアリングが活発だ。先週、ブラジル新興企業 Yellow が 900 万ドルのシードマネーを調達した。中国 E コマースプラットフォームの Meituan が Mobike を買収した。そして 1 月には中国配車アプリ大手 Didi Chuxing が、バイクシェアリングサービスを同社のアプリの中で開始すると発表した。(PhocusWire 4/9 <https://bit.ly/2H0Ypbz>)

➤ Airbnb、ゲストフィー廃止を試験

Airbnb が、ゲストフィー廃止を試験している。ゲストフィーとホストフィーの合計およそ 15%を、ゲストフィーを廃止して 12%にする。いくつかの任意のホストを対象として 4 週間に限って、ゲストフィー廃止効果を測定する。これは、増収のための異なるモデルを模索している、プロのプロパティーマネジャーのフィードバックに応えた実験である。プロのプロパティーマネジャー（この場合は、およそ 100）をターゲットにしたこのサービスの試験は、ホテルとプロフェッショナルのホスピタリティー領域参入を狙う Airbnb のさらなる野心を垣間見せている。(PhocusWire 4/9 <https://bit.ly/2IWfv6W>)

➤ オクトパス、9,500 万ドル調達

中国オンライン旅行流通プラットフォームの Octopus が、ラウンド C の資金調達で \$25 million の資金を調達した。新たな投資家には Alipay の親会社 Ant

Financial と CCB International が存在する。Octopus は 2012 年創立で、短距離と長距離の国内旅行、アウトバウンドツアー、フリープランツアー、クルーズの幅広い旅行プロダクトを取り扱う。そして、新たに S2B (Supplier Chain Platform To Business) 戦略を開始する。無錫、上海、安徽、浙江、青島、新疆に事務所を保有し中国 40 箇所の旅行出発地点をカバーしている。2020 年までに中国全土展開を狙う。プラットフォームは、中国内外の 6 万旅行プロダクトと 2,500 近くのサプライヤーと 16,000 の流通業者を保有する。現在までの 2 回の資金ラウンドでは \$51 million の資金を調達した。Tempus が 5,000 万元を出資して Octopus 株 4.17% を保有している。(PhocusWire 4/11 <https://bit.ly/2IRI5q7>)

➤ TravelPerk 2,100 万ドル調達

法人旅行の予約と管理プラットフォームの TravelPerk がシリーズ B のラウンドで \$21 million の資金を調達した。投資家には、既存の Spark Capital と Sunstone に加え新たに Target Global、Felix Capital が参加した。累計 \$30 million を調達した。今回調達した資金は、社員 200 人への倍増と 5 箇所の新グローバルオフィス設立費用に充当する。2015 年 1 月設立の TravelPerk は、自称、世界最大の法人旅行用予約インベントリを抱えるプラットフォームで、法人旅行管理システムも支援する。創立者の Javier Suarez と Avi Meir は、Booking.com に売却されたスペイン新興企業の Hotel Ninjas の創立者でもある。(PhocusWire 4/11 <https://bit.ly/2vf4kUX>)

➤ CarTrawler のオンデマンド配車アプリ

レンタカー、ハイヤー、タクシー、その他の地上輸送のテクノロジー提供企業 CarTrawler が、オンデマンドの配車アプリを自社システムに取り込んだ。そして、これを英 Splyt の API を利用して航空会社のアプリに統合することを可能にした。Splyt は、Carreem, Cabify, MyTaxi のマーケットプレイスにもアクセスするので、航空会社のモバイルアプリで、空港到着後にローカルの異なるライドオプションを比較検索することができるようになる。決済も航空会社アプリで行えるし、FFP プログラムとの連動もできる。CarTrawler は、現在 100 航空会社と 2,500 のオンライン旅行ブランドと提携している。Splyt は、2015 年創立の B2B 企業で、29 カ国 360 都市でオンデマンド輸送に対するアクセスを

提供している。継続して、同社のマーケットプレースに新規の配車アプリ企業を誘致しているが、Uber と Lyft を追加するのかどうかについては言及を避けている。(PhocusWire 4/12 <https://bit.ly/2qxdabN>)

▶ レストランガイド Zomato 劇的回復

インドのオンラインレストランガイド Zomato が 2015 年度の \$73 million の損失計上から劇的な収支改善を達成した。Alibaba のペイメントアフィリエイトである Amt Financial が Zomato に \$200 million を出資した。Morgan Stanley は、\$ 2.5 billion の企業価値があると言っている。そして 10 年以内に \$6.7 billion に成長すると予想している。Info Edge が 31%を保有する大株主。Zomato は、創立 2008 年でレストランレビュー、予約、広告の B2C と、クラウドベースの販売プラットフォームと食事の出前サービスの B2B を提供する。2017 年決算は、まだ発表されていないが収入 \$74 million (45%増収) を達成する見込みである。業績急回復は、食事出前サービスと Zomato Gold 会員の増収によるところが大きい。現在、出前サービスは収入の 40%、Zomato Gold は 12%をそれぞれ構成する稼ぎ手だ。

出前サービスでは、Swiggy、Ola-Foodpanda、UberEats、Google Areo などとの競争が激化している。Swiggy は、2 月に \$100 million の資金を調達。その投資家には南アフリカの Naspers と中国の Meituan-Dianping が居る。Zomato は Swiggy に対抗して、レストランに支払うコミッションをゼロにした。Swiggy は 25%~30%取っていると言われている。Zomato のコミッションゼロは、広告収入でヘッジしている。Zomato はこの競争激化する市場で優位なポジションを取っている。(Tnooz 4/12 <https://bit.ly/2qzIMxB>)

▶ 中国、トラベルテックの主要会場へ

Ctrip は単なる OTA ではない。そのポートフォリオは世界の旅行セクターに広がっている。航空会社に対する少額投資、インハウスの新興企業インキュベータープログラムの運営、中国におけるオンライン配車アプリのライセンスにまで手を広げている。グローバルのプレゼンスでは、18 ヶ月前にメタサーチの Skyscanner (本社 Edinburgh) を買収した。最近では Trip.com を買収し、その URL を中国国外のサイトで使用している。

モビリティプロバイダーの Didi は、2017 年 3 月に新 R&D 施設をオープンした。

フォーカスライト Japan

Grab, Lyft, Ola, Uber, 99 Taxify, careem への戦略的投資とテクノロジー提携により世界人口の 80%にアクセスできるにも関わらず、Didi の中国国外のプレゼンスは認知されていない。

Ctrip のモビリティへの参入は、このコンポーネントが旅行にとってなくてはならなくなっていることを証明し、中国が現在と将来のこのセクターの進展の中心になることを暗示している。Didi は、最近、公的運輸サービスとオンライン配車アプリとバイクシェアリングサービスを単一のスマートフォン画面にまとめたインターモーダル輸送提案機能を立ち上げた。

Uber はタクシーアプリの代名詞になっているのと同じように、Airbnb がホームシェアリングの代名詞になっている。しかし Uber は、特に中国が競争激化市場であることを証明し（撤退し）た。

Airbnb China は 2016 年 11 月設立、2020 年までに中国が Airbnb の最大のソースマーケットになると予想する。そして中国における（旅なかつールの）Airbnb Trips の展開も拡大する。

Ctrip、Didi、Airbnb China は、中国国外の企業と同様、旅行のテクノロジー開発に長けた企業だ。一つだけ中国が違うのは、中国海外旅行者の支払い手段だ。

Dragon Trail Interactive は、最近、海外における中国人旅行者のモバイル決済につい触れている。目的地のプロバイダーは、中国の二大モバイル財布である Alipay と WeChat の登録ユーザー数が、2017 年末にそれぞれ 5 億人以上に達したと報告している。中国海外旅行者によく使われているクレジットカードの China UnionPay も、デジタル財布プロダクトを開発中だ。

UNWTO は、2016 年に中国人海外旅行者数が 1 億 3,600 万人、マカオと香港と台湾訪問者を除いても 7,000 万人以上の真の海外旅行者が存在、2015 年より 10%も増加していると伝えている。(Tnooz 4/12 <https://bit.ly/2HwT8F0>)

+++++ +++++ +++++